

ぼんちの北らん

この冊子は、奈良県を

奈良市・大和高原エリア
斑鳩・生駒・大和郡山・磯城エリア
天理・桜井・橿原・明日香エリア
宇陀・葛城・五條・吉野エリア

の4つに分けています。これらのエリア
から144問、クイズを出題しています。

144問、
はじまり
はじまりー

全問正解
できたら
スゴイ!



Q & A

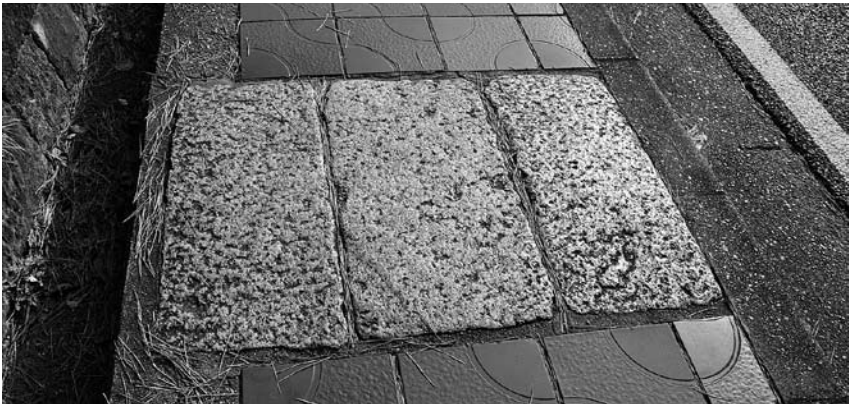
Q1

奈良といえば思
いつく写真のこ
の方。さてどこ
のどなた？



Q2

写真は、「南都八景」の1つに数えられたとある橋の1部と
いわれています。なんという橋でしょう。



Q3

奈良県庁から北に歩いて約15分。「佐保路門」「景清門」とも呼ばれた天平時代の東大寺の門といえば、さて何でしょう。

Q4

3月1日から14日まで行われる東大寺二月堂の修二会（いわゆる「お水取り」）。その行法を勤めるお坊さんは、さて何人？

Q5

猿沢池から興福寺へ登る石段、全部で何段？ 段数は、そのまま階段の名前にもなっています！

Q6

興福寺の僧によって書き継がれた日記。戦国時代から近世初期の奈良を物語る貴重な史料としても知られますが、何と呼ばれる日記でしょうか。

Q7

春日大社の朱塗りの南門を背景に咲き、シンボルでもある花。何と呼ばれているでしょう。

Q8

春日大社の若宮をお招きしておもてなしをし、五穀豊穡を祈るおん祭^{まつり}。ところで、若宮が旅を楽しめる時間には制限があります。それは何時間？

正解は 東大寺南大門金剛力士像の阿形像

鎌倉時代、俊乗坊重源によって復興された国宝・南大門。大仏様だいぶつようと呼ばれる建築様式の建造物ですが、その南大門に安置されている写真の方こそ、それぞれ高さ8.4mの本造金剛力士像（国宝）。大仏殿に向かって右側が吽形（口を閉じた像）、左側が写真の像である阿形（口を開いた像）です。昭和63年（1988）からの解体修理で、運慶、快慶しょうかく、定覚らの仏師によってつくられたことが明らかになりました。

遠足で、修学旅行で、日本史の教科書で…。1度は目にしたことがあるはず。ですが、阿形と吽形の左右が通常とは逆の位置だにご存知でしたか？ しかもお互い向き合って立っている、じつは一風変わった金剛力士像なんです。

とどろき 正解は 轟橋

「南都八景」は奈良で趣のある8つの景色を選んだもの。「東大寺の鐘、春日野の鹿、南円堂の藤、猿沢池の月、佐保川の蛍、雲井坂くもいさかの雨、轟橋の旅人（行人）、三笠山の雪」の8つとされています。

写真は、そのうちの1つである「轟橋の旅人（行人）」の「轟橋」の1部であるといわれています。「南都八景」のうち、雲井坂はいまの国道369号押上町おしあげあたりにある坂で、付近には轟橋が架かっていました。奈良県庁の東側の道路ぞいには轟橋と雲井坂の石碑があり、歩道には往時をしをばせる橋の板石3枚が残されています。

近江八景など、日本の〇〇八景のルーツは中国の「瀟湘八景しょうしょう」という山水図の伝統的な画題。日本のほとんどの八景はこの瀟湘八景に倣っているそうです。



てがいもん
正解は 転害門

転害門（国宝）は東大寺の門で、境内の北西にあります。聖武天皇が大仏の無事の造立を願い、大分の宇佐八幡宮から八幡神を勧請したとき、八幡神が入った門といわれています。10月5日には手向山八幡宮による転害会が行われています。

転害門は平重衡の南都焼き討ちや、三好・松永の戦いなどの戦火からも免れた創建当時の建物。名前の由来については諸説ありますが、害を吉に転ずる吉祥の方角にある門ということから、転害門と名付けられたという説が有力です。

周辺は古い街並みが残る「奈良きたまち」エリア。すぐ北には奈良市きたまち転害門観光案内所があります。南都銀行手貝支店として利用されていた建物で、雰囲気も素敵なんです。

正解は 11 人

「お水取り」の名で親しまれる東大寺二月堂修二会。参籠するお坊さんは練行衆と呼ばれ、現在は11人で行われています。

年配の僧から若い僧まで、幅広い世代が参籠します。経験によってそれぞれに割り当てられた役を勤めます。

練行衆は修二会期間中、二月堂の内外で法要や行事を行い、国の安泰や五穀豊穰を祈ります。修二会には練行衆以外にもさまざまな役を勤める人たちがいて、なんと総勢50名にもなります。ちなみに、期間中に上がる大きな松明を担ぐのは、練行衆ではなくそれぞれの練行衆につく童子の仕事。練行衆は童子の担ぐ松明を道明かりに、夜の法要を勤めるべく二月堂へ登っていくのです。

正解は 52 段(五十二段)

江戸時代中期の絵地図にはすでに石段が見られ、明治20年(1887)の写真には、中央付近に踊り場を備えた五十二段が写されています。現在の石段が築かれたのは明治31年(1898)といわれ、終戦後、アメリカ兵が石段をジープで登ったというエピソードは有名です。

ところでなぜ52なのでしょう？ 仏教には五十二位の修行の段階があり、五十二位に至って仏の位に達することや、善財童子ぜんざいどうじが訪ねて回った善智識ぜんちしきの人数に由来するなど諸説あるそうです。

ちなみに五十二段の階段下は道が6方向に分岐し、「六道ろくどうの辻」と呼ばれます。階段の下は地獄や畜生などの煩惱うずまく人間の世界、階段の上は仏の世界…ということかもしれません。

正解は『多聞院日記』

『多聞院日記』は、興福寺子院(塔頭寺院)である多聞院の僧、英俊えいしゆんら3代にわたる執筆者によって書き綴られた日記。46冊におよぶ日記には、文明10年(1478)から元和4年(1618)まで、140年間の出来事が書かれています。

お寺の日常生活を記した日記ですが、その内容からは、当時の文化や政治、社会情勢を伺い知ることができます。足利義輝の暗殺、織田信長の大和の政策への関与、松永久秀による東大寺大仏殿焼き討ち、豊臣秀吉が諸大名に与えた妻子上洛令…etc. さまざまなことが記されており、奈良の歴史を知るうえで、たいへん貴重な史料です。また、当時はお寺でお酒を造っていたので、日本酒の仕込み方、なんてものが載っているのも見どころです。



A7

正解は 砂ずりの藤

4月下旬から5月上旬の風薫る頃、春日大社では、いたるところに自生する藤が花を咲かせます。ただようあま～いかおり。なかでも名木として知られる「砂ずりの藤」は、慶賀門けいがもんに入ったところにある樹齢およそ700年以上の古い藤のこと。藤棚から長い花房が1m以上にも垂れ下がり、砂にすれるため、この呼び名がつかしました。

「藤の花は房が長く、紫色があざやかなほど見ごたえがある」と清少納言が『枕草子』で書いたように、かつては高貴な人にだけ許されていたという紫色。その色を藤原氏は一門の栄華の象徴としてとくに愛しました。春日大社の社紋は「下り藤」、御巫みかんこのかんざしや、若宮おん祭まつりの「日使」ひのつかいの冠の飾りにも、藤の造花が使われています。

A8

正解は 24 時間

若宮が若宮神社を出発するのは、12月17日に日付が変わった直後の真夜中。この御旅所おたびしょへの道中を「遷幸せんこうの儀」といい、2つの松明ぎの火で参道を清め、大勢の神職に守られながら向かいます。御旅所に到着した後、暁祭あかつきさいが行われ、夜中の神事は終了です。

夜が明けるとお渡り式とお旅所祭です。中世の芸能絵巻といわれる数々の芸能が御旅所で繰り広げられ、1日中若宮を楽しませます。そして夜11時。若宮が神社へ戻る「遷幸かんこうの儀ぎ」にうつります。遷幸の儀同様、暗い参道を行列が進みます。若宮が神社に完全に戻り、灯りのもと社伝神楽を奉納し、おん祭が終わります。大勢の人々に支えられる若宮の旅は、わずか24時間。たった1日にかかる思いこそが、いまもおん祭を支えています。

Q9

写真はあるお寺の修しゆ二に会えのようすです。さて、どこのお寺で
しょうか。



Q10

奈良市にあるこの建物は、平成6年（1994）に歴史的建造物
として国の重要文化財に指定されました。この建物の名前を
お答えください。



Q11

奈良市内の近代化遺産からもう1問。片山東熊かたやまとうくまの手によって明治27年(1894)に完成した、市内に現存する建物といえば、さて何？

Q12

銀幕にも登場する奈良。映画『好人好日』の主人公は、天才と謳われた奈良女子大学教授の岡 潔こうじんこうじつがモデルとされています。ところで、岡 潔の専門は何学でしょう。

Q13

奈良大和路をこよなく愛したこの写真家は、奈良の風景や仏像を撮り続けました。名前を冠した記念館や旧居が奈良市内にあります。さて、その写真家とは？

Q14

奈良市にあるこのお寺の本尊ほんぐんは、不空羅索観音坐像ふくろうさくくわんのんざざう。鑑真和上の住坊跡に建立されたといわれるこのお寺、何という名前でしょう。

Q15

萩の名所としても知られる、奈良市内のお寺。紅、白、紅白、色とりどりの花が咲く椿の名所でもあります。さて、どこのお寺でしょう。

Q16

藤原不比等を祖父にもつこの人物は、聖武天皇の時代、九州大宰府に左遷され、反乱を起こしました。奈良市にある鏡神社の祭神ともなったこの人は誰でしょう。

正解は 新薬師寺

奈良市高畑町の新薬師寺の修二会は、奈良県内で行われる最後の修二会で、毎年4月8日に厳修されます。「修二会」はもともと旧暦2月に勤められる法会ほうえでした。現在では2月1日～3日の法隆寺西円堂、3月1日～14日の東大寺二月堂、3月25日～31日の薬師寺などが知られます。新薬師寺の修二会が行われる4月8日は、釈迦の誕生日を祝う日でもあります。

新薬師寺の修二会は夕方5時から。法要後の夜7時、まだ若干肌寒いとはいえ、春の独特の夜気に包まれた境内で、大きな松明たいまつが担がれ、金堂の前をゆっくりと通り過ぎます。春の訪れを実感する静かな夜です。松明終了後、堂内では、おごそかに法要が行われます。

正解は 奈良女子大学記念館

奈良女子大学の前身である奈良女子高等師範学校は明治41年(1908)に設置されました。旧本館(現・奈良女子大学記念館)は、文部省・山本治兵衛しへえによる設計で、学校創設当時から残る木造2階建ての校舎です。

旧校舎の漆喰しっくいの壁をかざるのは緑に塗られた木枠。まるで童話に出てくる教会のようにかわいらしい外観は、いまでも同大学に学び集う女子大生たちの胸をときめかせています。

1階にはポーチ付き玄関、校長室・応接室(現在は展示室)があり、2階は講堂です。守衛室・正門は明治42年(1909)に竣工、木造平屋建の本館と類似した雰囲気です。旧本館・守衛室は、日本の学校建築の歴史を知る上で重要な建造物として、国の重要文化財に指定されています。



正解は 奈良国立博物館本館 (なら仏像館)

当時の名称は、帝国奈良博物館です。設計にあたった片山東熊かたやまとうくまは宮廷建築家として活躍し、赤坂離宮や東京・京都・奈良の3つの国立博物館を手がけました。昭和44年(1969)には旧帝国奈良博物館本館として重要文化財に指定されました。

帝国奈良博物館は、フレンチルネサンス高揚期の様式をとった、明治中期の代表的な欧風建築です。とくに玄関周りの装飾は秀逸。1階部分から正面を貫いて建つジャイアント・オーダーの2本の柱には、バロック様式の躍動感がよく表れています。

重厚かつ壮麗な建物は、寺院建築しか見たことのない奈良の人々には驚きだったに違いありません。竣工後は物珍しさに見物に押し寄せたため、急きょ観覧料をとるほどだったとか。

正解は 数学

岡 潔は、明治34年(1901)大阪生まれ。奈良女子大学の数学教授として学究生活を送り、数学における当時の重要な未解決問題を解いたことで世界的な評価を受けました。昭和35年(1960)文化勲章を受章し、昭和53年(1978)に78歳の生涯を閉じました。

映画『好人好日』は、昭和36年(1961)の渋谷実監督しぶやみのる作品。数学者、岡 潔がモデルとされる主役の尾関等を演じたのは、故笠智衆りゅうちしゅうです。映画は娘(岩下志麻)の縁談話に、尾崎が受賞した文化勲章盗難の騒ぎが絡み…。奇行で知られ、世間的には変人として通っていた尾関。しかしそんな風評を離れた父と娘との情愛を軸に描いた、あたたかく、けれどもほろ苦い映画です。実際の岡 潔も、この主人公と同じく、世間の評判にはまったく頓着しなかったそうです。

A13

正解は ^{いりえたいきち}入江泰吉

入江泰吉は明治38年(1905)奈良市に生まれました。空襲で焼け出され、奈良に戻った後、亀井勝一郎の『大和古寺風物誌』の影響を受けて奈良の古寺を訪ね歩き、仏像や行事、風景を撮影しました。そうして半世紀にわたって、日本人の心のふるさと・奈良大和路を撮り続け、歴史的風土や文化を、詩情豊かに写真に表現したのです。

『古色大和路』(1970年)、『萬葉大和路』(1974年)、『花大和』(1976年)の写真集3部作は菊池寛賞を受賞しました。平成4年(1992)に86歳で亡くなりましたが、いまでも入江の写真に魅入られて奈良を訪れる方が少なくありません。

高畑町の入江泰吉記念奈良市写真美術館や、水門町の入江泰吉旧居では、その作品や芸術へのまなざしに触れることができます。

A14

正解は ^{ふくこういん}不空院

奈良市高畑にある不空院は真言律宗のお寺で、本尊は ^{ふくこうけんざくがんのんざざう}不空羂索観音坐像です。不空羂索観音の不空は「心願 ^{むな}空しからず」、羂索は「縄」で、「あらゆる衆生をもれなく救済する観音」という意味。奈良時代、鑑真が平城京に入った後に、ここを住居としていた時期があるといわれています。鎌倉時代には、^{えいぞん}叡尊らが戒律を講じていました。

境内には、空海が興福寺南円堂の建立に関わった際に「試みのお堂」として建てたといわれる八角円堂の礎石が残っています。現在の本堂は円堂ではなく、安政の大地震での倒壊後、大正時代に再建されたもの。本堂に祀られている弁才天女は奈良町の ^{げいこ}芸妓さんたちの信仰を集め、別名「福院」とも呼ばれたことから、女性のかげこみ寺ともいわれています。



A15

正解は ^{ひゃくごうじ}白毫寺

春、境内を彩る銘木は「^{ごしぎ}五色椿」として知られ、県の天然記念物に指定されています。特徴は紅、白、^{しほ}紅白絞りなど、1本の木に色とりどりに咲く八重の花。これが五色椿の名称のいわれにもなっています。もとは興福寺^{しいん}子院の喜多院にあったもので、寛永年間にここへ移植されたと伝えられます。

ちなみに白毫寺は通年拝観可能です。高台にある境内から奈良市街が一望できて、とっても気持ちがいいんです。

大和の椿^{のり}といえば、東大寺開山堂の「^{でんごう}糊こぼし」、伝香寺の「^{めいちん}散り椿」と、この五色椿をあわせて「三名椿」とされています。「糊こぼし」は、^{めいちん}紅い花卉に白が散り、あたかも白い糊をつけたようで、「散り椿」は通常の椿の花と異なり、1枚1枚花びらが散っていくことから名づけられました。

A16

正解は ^{ふじわらのひろつく}藤原広嗣

藤原広嗣は、藤原^{しきけ}式家を興した宇合^{うまがい}の嫡男です。朝廷の実権を握っていた藤原4兄弟ですが、天然痘の流行によって相次いで亡くなり、天平9年(737)に^{げんぼう}玄昉と^{きびのまきび}吉備真備を登用した^{たちばなのもろえ}橘諸兄が政治を担います。

藤原家の勢力は後退し、広嗣は大宰府に左遷されます。広嗣は吉備真備と玄昉をよからぬ人物であるという上奏文を朝廷に送り、天平12年(740)、反乱を起こしましたが、あっけなく平定されてしまいます。広嗣は失意のうちに果てます。

その後、玄昉が筑紫に左遷されて亡くなり、これが広嗣の怨霊のせいであるとされ、その霊を慰めるため、九州の唐津に鏡神社が創建されました。新薬師寺の隣にある鏡神社は、唐津の鏡神社^{かんじょう}から勧請したものと伝えられています。

Q17

毎年8月に行われる、あるお寺の地蔵会。境内の浮図田の灯明皿は晩夏の奈良の風物詩。さて、どこのお寺？



Q18

毎年4月、全国のお菓子屋さんが集まり例大祭が行われるのは、奈良市の何神社でしょう。



Q19

Q4の「お水取り」をはじめたといわれる実忠和尚じつちゅうがしやうは、ある文化遺産を造営したことで知られます。奈良市にあるその国の史跡は何と呼ばれているのでしょうか。

Q20

猿沢池ほとりの畔うねめに建つ采女神社には、その昔、帝ちやうあいの寵愛を失った女性が身を投げたとき、一晩のうちにある不思議が起こったとの伝説が。さて、それはいったい、どんなこと？

Q21

「天の原 ふりさけみれば 春日なる 三笠の山に いでし月かも」と詠んだ歌が百人一首に選ばれているこの遣唐使は、ついに日本に帰れませんでした。さて、誰？

Q22

清少納言が『枕草子』に書き記したといわれる鶯塚古墳うぐいすづか。この古墳はある山の頂上にありますが、その山とはどこでしょう。

Q23

幕末の奈良奉行だったこの人。現在の奈良公園の基礎を築き、ロシア使節プチャーチンとの日露和親条約を調印したことで知られます。さて、誰でしょう。

Q24

高句麗こうくりの僧・曇徴どんちやうが日本に伝えたとされる、奈良の伝統産品は何でしょう。ヒントは「筆といえば○」。

A17

正解は 元興寺

ならまちにある元興寺は、蘇我馬子が創建した飛鳥の法興寺をはじめりとする古刹。極楽堂（曼荼羅堂）の屋根の一部には飛鳥時代の瓦が葺かれ、古き時代を偲ばせてくれます。

境内にはたくさんの石仏や石塔をまとめた浮図田があり、8月の地蔵会には、紫のキキョウの花が彩りを添えます。夕刻5時から極楽堂で法要が執り行われ、浮図田でも祈りがささげられると、参拝者は思い思いの願いを書いた灯明皿を、石仏の前に供えます。

日も暮れて、点々と炎が揺れる浮図田はまさに灯りの川。極楽堂では、各界の著名な人々の奉納による行灯を一堂に並べ、献灯会が行われます。境内には夜店も並び、秋の訪れを目前に控えたこの伝統行事は、毎年大勢の人でにぎわいます。

A18

正解は 林神社

奈良市の漢国神社の境内に鎮座するお社です。毎年4月19日に行われる例大祭は、「饅頭祭り」と呼ばれています。なぜならこの神社に祀られているのは、日本に初めて饅頭を伝えたという林淨因。中国から貞和5年(1349)に来日し、なかに「あん」の入った饅頭を伝えました。

饅頭祭りのときには、ふだんは静かな境内も大勢の人であふれかえります。全国のお菓子屋さんが神前に自慢の銘菓をお供えし林淨因の偉業を讃えるとともに、菓子業界の繁栄を祈願します。また境内入口では饅頭をはじめとするお菓子も販売され、桜の花びらが舞うなか、甘い香りがあたりに漂います。無料でお抹茶とお饅頭がいただけるのも嬉しいところです。



正解は **頭塔**

奈良市高畑町にある「頭塔」。12世紀に書かれた『東大寺要録』には、神護景雲元年（767）、東大寺権別当実忠が造営したと記されています。

また、藤原広嗣にたたり殺された玄昉の首が飛来したところで、そこに首を埋め、塚としたので「頭、塔なのだ」というちょっと怖い伝説も伝わっています。

頭塔はインドの形式を直接的に伝えた貴重な文化遺産です。ピラミッド形で、44の仏龕と浮彫石仏27体が、立体曼荼羅のように配置されています。仏教では本来、塔は釈迦の骨「舍利」を納めた卒塔婆のことで、インドでは円形の土饅頭型でした。仏教伝来の過程で中国の楼阁建築が合わさり、日本では五重塔のようなかたちになっていきました。

正解は **一夜にして神社が池の反対を向いた**

采女神社は、鳥居を背にして建つ珍しい神社。毎年中秋の名月の夜にここで行われる采女祭は、『大和物語』に記された伝説に基づいて、采女の霊をなぐさめるために行われるお祭りです。

伝説というのは以下のようなお話です。昔、ある美しい采女（天皇の世話をする女官）が帝の寵愛を一身に受けていました。しかし帝はほかの女性に心移りします。帝の心変わりを嘆いた采女は、猿沢池に身を投げました。采女をはかなんだ人々は、その霊を慰めようと池の畔にお社を建てて祀ります。しかし采女は、自身が身を投げた池を見るのはしのびないと、一夜のうちに池に背を向けてしまいます。

それでいまでも、神社のお社は鳥居と池に背を向けて建っていると言い伝えられています。

A21

あべのなかまる

正解は 阿倍仲麻呂

阿倍仲麻呂は、文武天皇2年(698)大和国に生まれ、吉備真備、玄昉らとともに遣唐使として唐に留学しました。日本人でありながら難関の役人登用試験に合格、唐の宮廷に仕え、皇帝・玄宗に重用されました。

第10次遣唐使の入唐の折、吉備真備、玄昉は帰国しましたが、皇帝は仲麻呂の学才を惜しんだため帰国の許可を与えず、日本に帰ることができませんでした。第12次遣唐使が来唐の際、すでに在唐35年になっていた仲麻呂は乗船しますが、暴風雨で船は遭難し、ベトナムに漂着、陸路で再び唐に戻るようになります。仲麻呂は帰国を断念し、長安で73歳の生涯を閉じました。

この歌は遠い異国にあって、月をめでながら故郷を偲んだ歌として知られています。

A22

正解は 若草山

山焼きで有名な若草山。緑の頃に奈良市を訪れば、芝生が青々とした斜面を至るところから見るができます。

そんな若草山の頂上にあるのが鶯塚古墳。5世紀初頭までの造営と考えられている前方後円墳です。

清少納言は『枕草子』第19段で「をかし」、すなわち素晴らしいと思った「みささぎ」(古墳)を挙げています。「みささぎはうぐひすのみささぎ、かしはぎのみささぎ、あめのみささぎ」。この筆頭の「うぐいすの陵」が、若草山の頂上にある「鶯塚古墳」ではないかと考えられています。

清少納言のいう「うぐいすのみささぎ」が鶯塚古墳であるか確かなことはわかっていませんが、旧平城京を見渡す絶景の地にある古墳は、たしかに「をかしき」古墳であるのかもしれない。



A23

かわじとしあきら
正解は 川路聖謨

川路聖謨は、享和元年（1801）豊後国の日田生まれ。下級幕吏、支配勘定を経て、天保の改革後に普請奉行から奈良奉行に左遷されました。

奈良奉行での5年間、東大寺・興福寺を中心に奈良町で大規模な植樹をし、現在の奈良公園の礎を築きました。佐保川沿いにあるソメイヨシノの老木「川路桜」はそのときのもの。またこの間、貧民救済も実施し、その善政はいまも奈良市民に慕われています。

その後、大坂東町奉行、公事方勘定奉行に就任。ペリー艦隊来航に際しては開国を唱え、長崎でロシア使節プチャーチンと交渉、安政元年（1854）に下田で日露和親条約に調印しました。「欧州でも珍しいほどのウィットと知性を備えた人物である」と帰国後のプチャーチンが述べたほどの人物だったそうです。

A24

ならすみ
正解は 奈良墨

『日本書紀』によると、推古天皇18年（610）、高句麗の僧・曇徴が日本に紙と墨の製法を伝えたとされています。各地で墨の生産が下火になっても、奈良の墨は寺社の需要を背景に作り続けられました。興福寺では、室町時代、同寺二諦坊に造墨手を置き、かなりの量が生産されていたそうです。

天正年間（1573～1592）になると名墨工・松井道珍が出てその声価を高め、民間事業としての基礎を固めます。やがて油煙（奈良墨）は奈良の名産となり、大いにもてはやされました。江戸時代には幕府の直轄地となり、30軒もの墨屋が奈良町に点在していた記録もあります。

いまでも国内生産量9割のシェアを誇る、奈良を代表する伝統産業なんです。

Q25

池の向こうに見る2つの塔。入江泰吉が愛し、いまや奈良を代表する風景の1つですが、さてこの写真のお寺はどこでしょう。



Q26

毎年10月、奈良市内の神社で17歳以上の少年たちが中心となって演じられるこのお祭り。何という神事でしょう。



Q27

奈良市のとあるお寺では、6月に日本人の生活に密着したある植物を供養します。このお寺はいったいどこでしょう。またこの植物は何？

Q28

国家繁栄・五穀豊穰・万民豊楽を祈る薬師寺の修二会は、10種類の造花が本尊に飾られることで知られますが、一般になんと呼ばれているでしょう。

Q29

唐招提寺を建立した鑑真和尚の坐像は、いまでも御影堂に安置されています。では、その御影堂を飾る障壁画は、誰の手によるものでしょうか。

Q30

西大寺にある仏像は、一面六臂の真紅の身体に獅子冠をつけ、弓矢を持ち、忿怒の形相をしています。この仏像、何という名前でしょうか。

Q31

東大寺大仏開眼法要の導師でもあるインド僧で、奈良市靈山寺にそのお墓があるとされているのは、誰でしょう。

Q32

天の川を地上に写したという伝説がある巨石群のある山添村の名所といえば、さて、どこでしょう。

正解は 薬師寺

手前の大きな池はまさにその通り「大池」(伝^{かつまた}・勝間田池)。大和路を四季折々、暖かなまなざしで撮り続けたことで知られる故・入江泰吉^{いりえたいきち}は、この大池から見た薬師寺の風景も多数残しています。

大池へは近鉄西ノ京駅から南西へ約1km。池越しに東塔と西塔が両方見られるため、タクシーに案内されてくる観光客も多いとか。東に塔が見えるので、日の出や日の入りの時間を狙えば、朝焼けや夕月との対比も楽しめます。

ただし、東塔は平成21年(2009)から解体修理に着手しており、現在は覆屋に覆われておりその姿を拝むことはできません。地下の発掘調査とその後、傷んだ部分の修繕を行いながら再び組み上げ、2019年の春に修理が完了する予定だそうです。

正解は 題目立^{だいもくたて}

題目立は毎年10月12日、奈良市上深川町の八柱神社^{かみふがわ やはしら}で400年以上も守り継がれている伝統芸能^{よしみや}で、秋祭の宵宮で奉納される神事です。かぞえ歳17歳の少年たちが中心となって演じられ、この日から少年たちは大人の仲間入りをします。「題目立」には、源平の武将を題材とした「^{いつくしま}・殿島」、^{いしばしやま}「大仏供養」、100年以上演じられていない「石橋山」の3曲が伝わっていますが、最近では「殿島」と「大仏供養」だけが演じられています。

少年たちは狩衣姿^{かりぎぬすがた}で弓を持ち、それぞれ自分の配役の歌を独特の節回しで順番に歌っていきますが、動作はほとんどありません。宮座の元服行事と芸能の混じり合った民俗行事であり、能の源流を伝えるものとして、国の重要無形民俗文化財に指定、ユネスコの世界無形文化遺産に登録されています。



正解は 大安寺と竹

中国では古くから、陰暦の5月13日（新暦の6月23日前後）を竹酔日ちくすいにちといい、この日に竹を植えるとよく育つと信じられてきました。

大安寺は「竹の寺」といわれ、奈良時代、長い皇太子時代を過ごした光仁天皇こうにんは、大安寺の竹林から伐った竹で酒を飲み健康を維持し、ついには62歳の高齢で即位、73歳まで在位したといわれています。竹は漢方にも用いられる健康に効果のある植物といわれ、光仁天皇の長寿も竹に秘訣があったのかも…。

毎年6月に行われる「竹供養」は、日本人の生活に欠かせない竹に感謝する法要です。竹は建材や生活用具、薬などさまざまに活用されてきました。当日は朝早くから「癌封じがんふうじ」の祈祷が行われ、境内では笹娘による笹酒のふるまいがあります。

正解は 花会式はなえしき

3月25日から31日まで行われる薬師寺の花会式は、正式には修二会しゅにえ薬師け悔過か法要ほうようといい、古くは旧暦2月末に行われていました。東大寺の修二会がお水取りと称されるように、薬師寺の修二会は10種の造花が本尊に供えられることから花会式と呼ばれます。

嘉承2年（1107）、堀河天皇は皇后の病氣平癒を薬師如来に祈りました。無事病氣が回復したことから、皇后はその翌年、10種類の造花を薬師三尊に供えるようになりました。花は、梅・桜・桃・山吹・椿・かきつばた・藤・牡丹ぼたん・菊・百合の10種。1年を彩る美しい花々をかたどった造花が、薬師三尊の前に華やかに飾られます。この造花は、代々これを作り続けてきた2軒の家で、いまもていねいに手作りされています。

正解は 東山魁夷

東山魁夷は、近現代を代表する国民的画家です。明治41年（1908）に生まれ、昭和22年（1947）の第3回日展で『残照』が特選となると、以後、日本絵画における中心的人物として活躍しました。

唐招提寺の御影堂障壁画（みえいどうしやうへきが）は、昭和46年（1971）から制作が始められ、約10年もの歳月をかけて完成しました。日本の風土を描いた「山雲」「濤声」は、目も覚めるような鮮やかな色彩。対照的に「揚州薫風」「黄山暁雲」「桂林月宵」といった鑑真和上の故郷の風景は、墨一色で描かれます。また坐像を安置する厨子の扉絵「瑞光」も魁夷の手によるものです。

御影堂（重文）は境内の北側にあり、ふだんは非公開の建物ですが、毎年6月5日～7日は特別に公開されます。

正解は 愛染明王坐像

空海が持ち帰った密教の経典に描かれた仏像で、人間の本能である煩惱や愛欲そのものを仏心に変換させるという功德をもっています。

30cm余の小像で、重要文化財に指定されています。秘仏として大切に保存されてきたせいか、台座光背や衣紋の截金、彩色も鮮やかに残っています。胎内に納められた文書により、鎌倉時代の西大寺中興の祖・叡尊が、当時活躍していた仏師善円に造らせたものであることがわかりました。

弘安4年（1281）、弘安の役に際し、叡尊が元軍調伏祈願をしたとき、この愛染明王が持つ鐏矢が妙音を発して飛び、元軍を敗退させたという伝説が残っています。

初春と秋の愛染堂特別開扉で、この像を拝観することができます。



A31

ほだいせんな
正解は 菩提僊那

インド人のバラモン僧である菩提僊那は、東方にいる文殊菩薩を求め、ヒマラヤから唐に渡り、天平8年(736)に遣唐使の船で来日しました。華嚴けごんの教えに精通し、優れた密教僧である菩提僊那は来朝後大安寺に住まい、天平勝宝4年(752)には大仏に魂を込める開眼法要の導師となります。聖武天皇(当時はずでに讓位)が深い信頼を寄せてのことでした。鑑真に比べて知名度は低く、事績もあまり知られていませんが、聖武天皇・行基ろうべん・良弁しせいとともに、東大寺の創建四聖の1人に数えられています。菩提僊那は天平宝字4年(760)、大安寺で入寂にゅうじやくしました。

菩提僊那が寺名をつけたという奈良市の靈山寺の本堂には、木像が安置され、境内には菩提僊那の供養塔があります。

A32

なべくらけい
正解は 鍋倉溪

鍋倉溪こうのやまは、山辺郡山添村の神野山の山中にあります。全長約650mにわたって、黒々とした大小さまざまな石がごろごろと並び、不思議な景色を作り出しています。これは風化に耐えた角閃石斑かくせんせきはん 糲岩れいがんの堅い部分が残って、谷底に転がって堆積したものだそうです。石の下には伏流水が流れています。

鍋倉溪は一説には「天の川」を表し、周辺に点在する巨石は、天の川を中心にした星座を写したものといわれています。たとえば鍋倉溪の脇にある「竜王岩」はアンタレス、神野山頂の「王塚」は白鳥座のデネブ、「八畳岩」は琴座のベガ、「天狗岩」はわし座のアルタイル。毎年夏にはライトアップも行われ、その美しさはまさに地上の「天の川」です。

Q33

平城宮跡には、当時の政治・儀式の場となっていた建物が復原、公開されています。何という建物でしょうか。



Q34

奈良市内の東部の山中に、写真のような巨岩があります。何と呼ばれる石でしょうか。



Q35

延暦13年(794)、桓武天皇^{かんむ}は平安京に遷都しました。ところが平城京遷都を画策する事件が起こります。この事件は、何と呼ばれているでしょう。

Q36

昭和61年(1986)、平城京の長屋王邸宅跡から出土した木簡^{もっかん}に書かれた「加須津毛」は、あるもののルーツと考えられています。その「あるもの」とは？

Q37

「名にし負はば いざこと問はむ 都鳥 わが思ふ人は ありやなしやと」。これを詠んだ人とゆかり深く、毎年その人の忌日法要が営まれる奈良市内の寺はどこでしょう。

Q38

コスモスで知られる般若寺^{はんにゃじ}。このお寺の唐櫃^{からびつ}に隠れて追っ手から難を逃れたという伝承のある人物とは、さて誰でしょう。

Q39

聖武天皇は都や宮を次々と遷^{うつ}しましたが、東大寺の大仏様を造る「盧舎那大仏造頭^{るしゃなだいぶつぞうけん}の詔^{みことり}」は、いったいどこの都(宮)に滞在中に出されたものでしょうか。

Q40

毎年10月8日、奈良市のとある神社で行われる翁舞^{おきなまい}(国の重要無形民俗文化財)は、能楽の起源といわれています。さて、何という神社でしょうか。

だいいちじだいごくでん
正解は **第一次大極殿**

平成 22 年 (2010)、「平城遷都 1300 年祭」を記念して、平城宮最大の建物である「大極殿」が復原されました。その規模は正面が約 44.0m、側面約 19.5m、高さ約 26.9m。天皇の即位式や外国使節との謁見えっけんなどに使われていました。建物のなかには、当時天皇が儀式の際に座った「高御座」たかみくらも復原されました。また内壁には、日本画家上村淳之氏あつしの筆による、東西南北をつかさどる四神や十二支が描かれています。

復原に際しては発掘調査の結果や、同時代の建築物である薬師寺東塔や法隆寺金堂、平安時代に描かれた絵図などが参考にされました。「大極」は「北極星 (天の中心)」を意味する言葉で、宇宙の中心である天皇を象徴するものです。大極殿は、まさしく奈良時代の政治の中枢でした。

いっとうせき
正解は **一刀石**

奈良市北東部、柳生の山あまのいわだて中に天乃石立神社があります。社殿はなく、ご神体は 3 つの大きな岩。そのうちの 1 つ、前立盤まえたていわは全体が大きな扉のかたちをしているのが特徴です。伝説によれば、高天原たちからのおみことで手力雄命が天岩戸を引き開けたときに、勢いあまってその扉が飛び、この地に落ちたといわれています。

この神社の奥にあるのが「一刀石」とよばれる花崗岩かこうがんの巨石。中央で真っ二つに割れたこの石は、天下に名を馳せた剣豪・柳生石舟斎宗やぎゅうせきしゅうざいむねよし敵が、天狗を相手に剣の修業をしているさなか、天狗と間違っって切ったものと言い伝えられています。

たしかに刀ですっぱりと切ったように見えるその割れ方。見事というほかなく、柳生新陰流始祖のエピソードに彩りをそえています。



正解は ^{くすこ}薬子の変

大同元年（806）に即位した平城天皇は病弱で、在位わずか3年で弟の嵯峨天皇に皇位を譲りました。弘仁元年（810）、退位した平城上皇は療養のために平城宮へ移り、平安京と並んで「二所朝廷」と呼ばれました。健康を取り戻した上皇は平安京を廃して平城宮へ遷都する詔勅を出しますが、嵯峨天皇はこのクーデターをいち早く察知していました。

反乱は早期に収束し、遷都を画策していた上皇方の藤原仲成は逮捕され、射殺されました。逃亡を図った上皇と、藤原仲成の妹で上皇の寵愛を受けていた藤原薬子は坂上田村麻呂に行く手をはばまれ、平城京に戻りました。上皇は剃髪して出家し、薬子は毒を仰いで自殺。これがいわゆる「薬子の変」です。上皇は亡くなるまで平城京で過ごしたといわれています。

正解は 奈良漬

平城京の長屋王邸宅跡から出土した、3万5千点にのぼる膨大な枚数の木簡。そこには当時の暮らしをほうふつとさせるさまざまなことから書かれていました。奈良漬のご先祖様もそのうちの1つです。

「加須津毛瓜」の文字は、「漬物を送ります」という手紙のような内容の木簡に記されていました。同じ木簡からは、他にもナスの粕漬けと、瓜・みょうがのひしお漬けも送られたことがわかっています。ここでいう粕漬けとは、酒造所でどぶろくの下に溜まる汁粕に塩漬けした瓜などの野菜を漬けたものと考えられており、まさに奈良漬のルーツといえるもの。長屋王が食したかどうかは定かではありませんが、奈良漬は1300年続いてきた味といえるでしょう。

A37

ふ たい じ
正解は 不退寺

この歌を詠んだのは誰かわかりですか？ 平安時代初期を代表する歌人で、六歌仙の1人、在原業平ありわらのなりひらです。歌は『伊勢物語』の東下りの段に登場します。業平あずまは阿保親王あほの五男として生まれ、平城天皇の孫にあたります。その業平が寺として開基したと伝わるのが、奈良市の不退寺です。大同4年(809)、平城天皇が退位してこの地に住み、その後、阿保親王、在原業平が暮らしたといわれています。本堂の木造聖観世音菩薩立像しょうかんぜおんぼさつりゅうは、業平自身の作と伝えられています。

不退寺では、毎年5月28日に業平忌が行われます。業平の画像が掛けられ、僧侶による法要が営まれるなか、歌や俳句の上達を願う人らが参拝に訪れます。この日、多宝塔が公開されるほか、伊勢物語の写本など、業平ゆかりの寺宝が公開されます。

A38

もりなが(よし)しんのう
正解は 護良親王

護良親王は建武の新政で知られる後醍醐天皇の皇子です。父の鎌倉幕府倒幕運動に協力し、熊野や吉野に潜伏、各地で戦を指揮。建武の新政下では征夷大將軍となりましたが、のちに天皇と対立し、鎌倉の幽閉先で殺されてしまいます。

奈良市の般若寺はんにゃじは別名「コスモス寺」。かわいい花が境内いっぱい咲きます。元弘元年(1331)、元弘の変を起こした後醍醐天皇がとらえられると、追っ手がかかった護良親王はこの般若寺へ逃げ込みます。そこへ北条方が迫ります。護良親王は機転を利かせ、経巻きょうかんを入れた唐櫃からびつに隠れ、敵の再度の探索も逃れて生きのびたのです。

現在唐櫃は本堂に置かれ、見学することができます。想像力豊かに唐櫃をながめてみてはいかがでしょうか。



しがらきのみや
正解は 紫香楽宮

聖武天皇は治世の乱れから、天平12年(740)からおよそ5年間、平城京を離れ遷都^{ぎょうと}や行幸を繰り返します。そのためこの期間を俗に「彷徨^{ほうこう}5年」などとも称します。平城京から現在の京都府木津川市にある^{くにきょう}恭仁京へ、ついで滋賀県甲賀市の紫香楽宮、そして大阪府の難波京から平城京へというのが、大まかな足跡です。

天平13年(741)、恭仁京で全国に「国分寺・国分尼寺建立^{みことり}の詔」が、天平15年(743)、紫香楽宮で「盧舎那大仏造願の詔」が出されました。工事は中断されたものの、紫香楽宮の跡地と考えられていた甲賀寺では、大仏の中心となる柱も建てられたことがわかっています。甲賀寺跡から北へ離れた^{みやまち}宮町遺跡では宮跡を示す遺構がみつき、そこに紫香楽宮が置かれたことが確定的となっています。

ならづひこじんじや
正解は 奈良豆比古神社

奈良市奈良阪町にある奈良豆比古神社は、かつては奈良坂春日社と呼ばれていたように、古くから春日大社との関係が深く、石灯籠の中には春日社と刻まれたものもあります。

拝殿は春日造が三殿並び、中殿に平城津彦神(奈良豆比古神)を祀っています。

この奈良豆比古神社に古くから伝わるのが、毎年10月8日の宵宮に舞われる「翁舞」です。町内の講の人々によって演じられる舞は、能の起源・猿楽の雰囲気をよく残すといわれています。千歳と呼ばれる男の子の舞や、3人の翁が天下泰平を^{ことほ}寿ぐ翁舞、五穀豊穡を^{さんばそう}寿ぐ三番叟などで構成される伝統行事は芸能史的に大変貴重なものといわれ、国の重要無形民俗文化財にも指定されています。

ポケットに奈良 クロスワード

1		2	3		4	5
6	7			8		
	9			10	11	
12		13	14			
15	16		17	18		
19				20		
21			22			

タテの鍵

1. 奈良豆比古神社の翁舞はこれの起源と言われているよ。
2. コナベ古墳の東隣にあるのは●●●●古墳。
3. 奈良市の難読地名「水間」の読み方は。
5. 東大寺は●●●宗の総本山です。
7. 新沢千塚古墳は●●の正倉院と呼ばれます。
8. 大王と書いて「おお●●」と読む古代の天皇。
11. 大仏殿再建が叶うまで横になって寝なかった公慶上人の話はいまも●●●●●だね。
12. 西ノ京にある、塔で名高い古代寺院。
14. ●●山は歌枕にもなっている御所市の山。
16. 古代の八省の1つでいまの人事院などに当たる●●●省。
18. 山上憶良は子どもは銀や金や玉にも優る●●●と詠みました。

ヨコの鍵

2. 近畿地方では奈良県と滋賀県にありません。
4. 荒・蛙股・あやめ・鷲…、何の名称でしょう。
6. 唐招提寺に♥が飛び交う有名な行事。
9. 万葉仮名から生まれたひらがなやカタ●●。
10. 甘酸っぱい！奈良県のお隣が一大産地。
13. 天武天皇が稲作期間中の食肉を禁じたある動物を東北の方言で言うと。
15. 黄泉の国脱出でイザナギが投げた●●の歯。
17. 奈良市の難読地名「誓多林」の読み方は。
19. 藤原四家は北家・南家・●●家・京家。
20. 正倉院宝物には聖武天皇のお部屋を飾った●●も伝わります。
21. 戸籍の管理などを行った古代の●●省。
22. 大和野菜の千筋みずなは水田の●●●●として栽培されました。



答えは P119